

令和 7 年度第 2 回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和 7 年 1 月 15 日（土） 午後 2 時から午後 3 時 40 分まで

2 場所

碧南市芸術文化ホール 2 階 会議室

3 出席者及び欠席者

- (1) 出席者 清水裕之（委員長）、伴野義雄、糸山勝人、石川善博、宮本美枝子、熊谷祥子、生田和重
- (2) 欠席者 碧南市芸術文化ホール館長 小林ひとみ
- (3) 事務局職員 教育部長 岡本和雄、生涯学習課長 金原厚夫、生涯学習課 生涯学習係長 竹内みほ子、生涯学習課生涯学習係主事 古賀葵
- (4) 指定管理者 エリアワン株式会社 取締役部長 石川明良、エリアワン株式会社 事業運営部統括マネージャー 井上宗一郎、碧南市芸術文化ホール副館長 墓 泰岳

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 令和 7 年度上半期状況報告書について
- (2) 令和 8 年度事業計画書（案）について

6 議事の要旨

- (1) あいさつ（清水委員長）

- (2) 議題

ア 令和 7 年度上半期状況報告書について

指定管理者が会議資料に基づき、令和 7 年度上半期状況報告について報告した。

＜主な意見・質疑＞

【A 委員】ベイビーシアターとファミリーコンサートにおいて、出演者のプログラムの組み方等の違いはあるか。

【A 指定管理者】ベイビーシアターでは、語りよりも体感で楽しむことに重きを置くよう出演者と調整をしている。父親・母親・乳児が家族で同じ時間を共有できたと評価いただいている。

【B 委員】モーニングコンサートは朝の一時間という限りある時間だが、コーヒーと音楽を楽しむ時間を過ごすことができ、イベントの大衆化ができていて良い。

【A 指定管理者】これまで入場料が三千円から四千円のコンサート等、比較的高価な催しを多く実施していたが、今年度から気軽に参加できる価格帯のイベントを充実させた。

【C 委員】公演チケットの一般とエメラルド会員の内訳はどうか。

【A 指定管理者】エメラルド会員が3割程度。告知メディアが限られている中で、地域の方々にどう周知していくかが課題だが、エメラルド会員には直接チラシをお送りできるため、催しによってはエメラルド会員が多くの割合を占めることもある。

【D 委員】令和7年度に入り、複数の新たな企画を試みており、狙い通りの成果をあげている。今後の発展に期待したい。

現在無料で実施しているアカペラ体験ワークショップや朗読劇等は今後有料へ移行していく可能性はあるのか。また、赤字の催しが多い中、シアターサウス映画館が黒字であったが、これはなぜか。

【A 指定管理者】当初の目的が達成できれば、モーニングコンサート含め適正な料金に近付けていくことも考えている。

シアターサウス映画館についてはどのような作品を上映するかが重要。今年度、これまで上映してきた作品とは方向性を変更し、家族愛を謳ったものなど高齢者を対象とした作品にした。若者は自身で好みの作品の情報を入手し映画館に赴くことができるが、高齢者は難しい面もある。そのようなニーズを意識し、映画作品の選択をしている。

【D 委員】フォーラムコンサートについても現在無料だがこれはどうか。

【A 指定管理者】フォーラムコンサートはスタジオの大扉を開放し屋外で実施していることもあり、誰でも観覧できるため、現在は有料化は考えていない。今後は登録アーティストなど発表の場を求める方々に出演していただくことを考えている。

【E 委員】自主事業を増やすと利用料収入が減ってしまうが、指定管理者として、貸館の利用料相当額と自主事業実施時の収入額の差と、さらにそのチケット収入とトータルの支出の差がどの程度かを具体的に調査しておくとよい。

また、地域のアーティストと共に催公演という形で貸館使用料を減免できたら、チケット収入で残りの支出を補うことができ、アーティストの収入につながるのではないか。そのようなことも含めて、どのような事業形態が好ましいか検討してほしい。なお、シアターサウスは平土間と客席を置く場合の利用比率はどうか。また、ベイ

ビーシアターでは、平土間で参加者が床に座って観覧しているようだがクッション等は準備しているのか。

【A 指定管理者】 平土間の割合は約5割だと考える。また、ベイビーシアターはクッションシートを用意している。

【E 委員】 客席を設置するのは、会館か利用者どちらか。

【A 指定管理者】 客席は自動で設置可能だが、懇親会等の利用において平土間で長机と椅子を使用する場合は利用者にお願いしている。

【A 委員】 ホール利用が増えると舞台管理費用も増える。無料公演のへきなんドラマシアターのアンケートには有料にしてもいいのではという意見もあるため、もう少し収入と支出のバランスを取ってもいいのでは。

【E 委員】 Amazon のオーディブルの流行により、朗読劇がポピュラーになってきているのか。

【A 指定管理者】 新型コロナウィルス流行以降、公演の配信が増え、併せて朗読劇が社会的に認知されてきたように感じる。また、劇場で芝居を行うよりも朗読劇の方が比較的安価に実施できるというのも利点として挙げられる。

イ 令和8年度事業計画書（案）について

指定管理者が会議資料に基づき、令和8年度度事業計画書（案）について説明した。

<主な意見・質疑>

【A 委員】 次年度予定している新しい事業の中で、特別支援学校へのアウトリーチがあるが、出演者やスタッフ等が慎重に対応する必要があると考える。

【A 指定管理者】 先日地域の劇場として社会福祉責任について心得ている講師をお招きし、会館スタッフに対して勉強会を行った。今後も勉強しながら進めていきたい。

【F 委員】 次年度計画している事業の中で、助成金を申請していきたいという話が出たが、碧南市外の企業が碧南市の特徴的な事業に共感していただくことで寄付をいただく企業版ふるさと納税というものもある。芸術の面で、碧南市の特徴的なものを市民に還元していくことで、企業の共感が得られるような事業を計画すると支援が得られるため検討すると良い。

【C 委員】 令和8年度事業計画書の收支予算書に前年度対比があると良い。

【E委員】公演の様子を録音・録画して出演者に還元するサービスを実施してみはどうか。著作権等に注意は必要だが、インターネット配信に発展していくと、もしかしたら碧南市から素晴らしいアーティストが誕生する可能性もある。

【A指定管理者】いただいた意見を参考に検討していきたい。

【D委員】新たな事業が計画されているが、人員は変わらないため無理のない範囲でお願いしたい。

今後も外部からの助成金申請と併せて、地元企業からの支援も取り付けると良い。

(3) その他

令和8年度第1回指定管理者審査委員会の日程について

令和8年5月30日土曜日午後1時30分より、碧南市民図書館にて開催予定